

令和6年度をふりかえって

今年度は、4月の総会で承認された事業計画をつつがなく実施できました。特に、去年は災害級の大雨で中止となった立花高等学校の齋藤真人校長先生による講演会を開催できたことは嬉しい限りです。

『いいんだよ』という魔法の言葉で不登校生徒の自立支援を実践する先生のお話は感動もので、涙する方がたくさんおられました。人は涙を流すことでリフレッシュできるといいます。悲しみの涙ではなく、感動の涙を皆さんと一緒に流せるような講演会・映画祭を今後も開催して参りたいと思っています。『目から鱗』となるような貴重なお話も聞けますので、多忙な子育てで世代の方もご来場頂ければ幸甚です。

糸島市・人権同和教育推進協議会
支部長 赤松 純一

人権講演会



人権映画祭



ひまわり運動種飛ばし



◎令和6年度事業報告

月	日	内容	備考
4	20	市同協可也支部総会	
5	15	ひまわり運動	種まき
6	20	ひまわり運動	苗の植え替え
7	13	街頭啓発活動	糸島イオン駐車場
7	13	人権講演会	齋藤真人先生
10	25	フィールドワーク	大牟田市方面
11	8	ひまわり運動	種飛ばし
11	23 24	校区文化祭展示	人権標語 ひまわり運動
12	7	街頭啓発活動	糸島イオン駐車場
12	7	人権標語表彰式	可也小6年生児童
12	7	人権映画祭	オレンジランプ上映
行政区人権研修		小金丸西・松隈・大浦台行政区で実施	
人権標語		可也小6年生児童90作品	
メッセージ募集		「ちいさなしあわせ」メッセージ	
広報		「可也人権だより」 6月・11月・1月・3月発行	

地域の人権学習会

・1月26日(日) 大浦台集会所で開催されました。
「高齢化社会のひきこもり問題について」



大浦台行政区人権研修会の様子

高齢化社会における、さまざまな問題を自分事として捉えるよい機会となりました。

可也小
人権
標語

昨年の可也小6年生による人権標語の取り組みで、佳作となった4作品を紹介します。

みな人間 十人十色 多様性

しらんぷり 無視したあなたも 共犯だ

泣かないで 君の笑顔は 世界一

つらいとき まよわずつたえる SOS

教えてください！ あなたの「ちいさなしあわせ」

1月に募集しました、「ちいさなしあわせ」メッセージへ、多くの方にご応募いただきました。ありがとうございました。その中から10作品を紹介します。

ぼくのちいさなしあわせは、家ぞくで、こうかん日記をしていることです。家ぞくの日記をよむと、しあわせなきもちになります。いそがしいパパに、日記で自分のできごとを教えるのがうれしいです。日記は、家ぞくのつながりです。

ももさん(8才 師吉)

家族揃っての食卓。子どもが高校生になり部活に勉強に遊びに忙しく、主人は仕事で夜遅くてなかなか家族揃うことがない今日この頃。来年4月から上の子が進学で独り暮らしなのでますますこれから減る一方。少ないながらも一緒に食卓を囲めるその瞬間、母の小さな幸せです。

牟田麻澄さん(47才 吉田)

私のちいさなしあわせは、夜の入浴の時です。あたたかいタプリの湯につかりながら、ああ今日も一日無事過ごせたなあー。持病を抱えながらも、今日も生かされていた。一日の終わりに、あたたかい湯につかれる事の幸せ。感謝の日々です。

吉村静子さん(80才 師吉)

ぼくには去年うまれた弟がいます。弟がうまれる前、いぬの日に神社に行ったとき、神主さんに「赤ちゃんがお兄ちゃん大好きってかたっているよ」と言われました。びっくりしたけどうれしかったです。そんな弟がわらいかけてくれる事が小さな幸せです。

永濱はるきさん(9才 新開)

私のちいさなしあわせは、いもうとがはじめてわらったことです。いもうとをわらわせようとしても、わらってくれませんでした。ある日、わたしがいないいないばーをしたら、やっとわらってくれました。それが私の小さな幸せです。

あやさん(8才 大石)

私のちいさなしあわせは、兄夫婦が、亡き両親の味を引き継いでくれていることです。父の柚子胡椒を兄が。母のたくあんを兄嫁が。今年もお正月に帰省した時、帰り際に餅や料理と共に渡してくれました。なつかしい味です。

小姑さん(66才 稲留)

退職を機に、散歩を始めた。今まで車で通りすぎた道も、歩いてみると日々新しい。出会う人に挨拶し、風を感じ、屋根の上の猫にも出会った。草むらで四つ葉のクローバーを探し、見つけても、見つからなくても笑い、帰る。

志摩えっ長さん(68才 初)

家を購入して3年目。ハウスメーカーが植えてくれていた木に、花が咲かず悩んでいました。土を変えたり水やりをしたりお世話に時間をかけたところ、年末に白い花がたくさん咲いてくれました。寒い中、私の家に来てくれて感謝しています。

ぶうさん(35才 新開)

孫が1歳の頃、川崎病になった。危ないかもしれないと言われていた。今、その孫も6歳。今年の春は1年生。元気でランドセルを背負って通学している姿を想像すると幸せだなあ~と思います。

田中梨江さん(59才 師吉)

年末からお正月、娘家族5人が川越から系島へ帰省して来る。福岡空港へ迎えに行き到着口で待っていると「じいじ~♡」可愛い孫の声。満面の笑みでかけて来てギュッと抱きついてくる。その瞬間が、私のちいさなしあわせ！幸せです。

コーキさん(69才 稲葉)

たくさんのご応募をいただき、ありがとうございます。

毎日過ごしている中で、気づくか気づかないか。「あ~この時がしあわせなんだ」と思える小さな出来事が、人から見れば「何で?」と思える様な事がしあわせ。もう一度味わいたいと思い、毎日を送っているしあわせ。私も日々のしあわせを大切に、毎日を楽しく過ごせる事がしあわせなんだと気づかせていただいた投稿に感謝をして、お礼の言葉とさせていただきます。

糸島市人権・同和教育推進協議会 可也副支部長 藤嶋 薫

